



いいことはおかげさま、わるいことは身から出たさび

「いいことはおかげさま、わるいことは身から出たさび」は、相田みつをさんの言葉です。

いいことがあったら、それは身の周りの人々のおかげ、悪いことがあったとしたらそれは自分に多くの原因があったのではないかと考えてみよう、という意味です。

今の世の中、自分に都合の悪いことが起きると、すべて他人のせいにしてしまったり、振り込め詐欺のように相手が困ることが分かっているが、平気ですをついたり、悲しいことが多いように思います。

今から120年前に、今のトルコの船、エルトゥールル号が和歌山県紀州沖で台風に遭遇し、運悪く座礁し、沈没しました。

たくさんの方が亡くなるという大惨事となりましたが、付近の日本の住民の献身的な救助により、69名の乗組員が救助されました。当時のトルコの人々は遠い異国である日本と日本人に対して好印象を抱いたといわれています。

この話は、トルコでは今も語り継がれ、トルコの人々は今でも日本に親近感をもっているようです。特に、日本人の礼儀正しさ、誠実で親切なこと、誰もが学ぼうとする意欲をもっていることなどが敬意をもたれてきたようです。多くの日本人が今ももちつづけていることですが、一方、そうでない人がいるような事件が増えているのも事実ではないでしょうか。

さて、今年1年も終わりにさしかかっています。毎日の忙しい生活の中で、気持ちが落ち込み、時には、怠け心が出てきたり、悪い考えが浮かんできたりしてはいないでしょうか。年末の大掃除を行うときに、心の大掃除もしてはいかがでしょうか。

今年、いいことがあったら、それは身の周りのみなさんのおかげと心から感謝して、悪いことがあったら、自分がいたらなかったと反省し、次に生かしていこうと考えて、さっぱりとした気持ちで新年を迎えましょう。

保護者・地域の皆様、PTA役員の皆様のおかげで、3日間の学芸会も無事、終わることができました。誠にありがとうございます。春江小学校はよいしめくりができそうです。教職員一同、感謝申し上げます。